

学年	学科	単位数	期間	開設週数	時間/週	総時間
4	物質化学工学科	(選択) 1	夏休み中	1～2 週間	-----	30 時間以上

【担当教員】 物質化学工学科全教員 【教員室】 【TEL】 【e-mail】

【授業目的と概要】

夏季休業中、企業技術者の指導の下に企業内実習を行い、研究、開発、製造、品質管理部門などの業務を実地に体験させることにより、卒業後に企業の技術者として働く自覚を持たせると共に、技術者として重要な専門基礎を修得することの必要性を実感させる。また実際の業務の体験を通して、技術の社会・環境に及ぼす影響について考える能力を育成する。

【授業の進め方及び履修上の注意】

事前に学外実習の心構え・意義について理解しておくこと。夏期休暇終了後に実習の評価を行うため、物質化学工学科全教員の出席の下に学外実習報告会を開く。実習学生の報告を聴講することによりそれぞれの企業での貴重な体験を学び共有することができるので、報告会には4年生クラス全員の出席を義務付ける。

授 業 項 目	内 容	時間
【前期】 ・実習 ・実習報告会	企業等で用意された実習テーマについて実習を行う。 実習内容についてのプレゼンテーションを行う。 (定期試験は行わない)	30 時間以上
【後期】		

【達成目標】

- ・ 実習テーマを取り組むことにより、必要な工学知識を修得すると共に、チームワークで業務を行うことの重要性を理解できる。
- ・ 実習を通して、技術と社会・環境の関係を考えることができる。
- ・ 企業等の安全・衛生対策のあり方を実体験を通して理解できる。
- ・ 自らが従事した実習内容を、レポートおよびプレゼンテーションにより正確に相手に伝えることができる。

【教科書】

【参考書】

指導を受ける企業技術者に相談のこと。

JABEE 教育目標 (D)①②, (E)②, (F)②③

準学士課程目標 (D)①, (E)②, (F)②③

成績 評価	【評価基準】 実習テーマを理解して、熱心かつ積極的に取り組み、得られた実習成果をきちんと分かりやすく報告することができること。	【オフィスアワー】
	【評価方法】 企業実習報告会における報告の内容と実習レポートにより総合的に判断する。報告会発表 70%、レポート 30%	